

# 上海日本人学校浦東校における進路指導と実践

前上海日本人学校浦東校 教諭

神奈川県横浜市立みたび台中学校 教諭 石 堂 達 晴

キーワード：在外教育施設、進路指導、大規模校、教科指導、総合的な学習の時間

## 1. はじめに

世界に89校ある日本人学校の中で世界最大規模を誇る上海日本人学校で教鞭をとる機会を頂いた。1年目は中学部3年生の担任として、2年目は進路指導主任として、3年目は中学部3年生の学年主任という立場で児童生徒やその保護者の方と関わることができた。その中で、児童生徒や保護者の方と共に進路について真剣に考える貴重な経験を多く得ることができたので、ここにその概略を紹介したい。

## 2. 学校概要

### (1) 学校教育目標

「自ら学び、明るく、やさしく、たくましく、国際性豊かな児童生徒の育成」

### (2) 校訓

「独歩博愛」

独歩：自らを育くみ、自分らしさを発揮して世の中の役に立とうとする精神

博愛：自他を愛し、よりよい世の中を作っていこうとする精神

### (3) 児童生徒数・職員数（平成29年4月13日現在）

児童数582人 生徒数466人 合計1048人

職員数73人（その他 事務スタッフ・門衛・英会話講師・中国語講師など）

上海は大都市であるということと、世界の中で日本に比較的近い位置にあるため、多くの日本人が在留し、子どもも多い。上海日本人学校浦東校は、そのため、日本にある公立学校と同じようなイメージで運営されている。ただし、転出・編入する児童生徒は日本よりもはるかに多く、毎年200～300名程度の転出・編入がある。各学年に120名程度の児童生徒が在籍しているが、小学部1年生で入学し、中学部3年生で卒業する生徒は毎年2～3名程度しかいない。同様に職員も基本的には2～3年で入れ替わるが、学校教育目標や校訓を強く意識することと、引き継ぎを大切にしているため、方向性は大きく変わらず運営されている。

## 3. 受験合格校一覧

平成29年度中学部3年生における受験合格校（平成30年3月12日現在）を次ページに掲載した。なお、在籍数は123名である。1人につき、2～4校受験をする生徒が多いが、私立難関校と呼ばれる学校を受験する生徒は10校程度受験する場合もあった。私立の高校を第一志望とする生徒が基本的には多く、その中でも大学まで進学できる学校が人気であった。しかし、赴任した3年間の中では、年々公立高等学校を受験する生徒が増えていく傾向が強くなっていた。

平成29年度中学部3年生における受験合格校（平成30年3月12日現在）

国立高等学校			私立高等学校		
所在地	学校名	合格者人数	所在地	学校名	合格者人数
東京都	東京学芸大学附属高等学校	2	埼玉県	早稲田大学本庄高等学院	5
大阪府	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	1	埼玉県	立教新座高等学校	2
			埼玉県	栄東高等学校	4
公立高等学校			埼玉県	開智高等学校	2
東京都	東京都立日野台高等学校	3	埼玉県	淑徳与野高等学校	1
東京都	東京都立国際高等学校	1	埼玉県	城北埼玉高等学校	1
東京都	東京都立国立高等学校	1	埼玉県	川越東高等学校	1
東京都	東京都立日比谷高等学校	1	埼玉県	慶應義塾志木高等学校	2
神奈川県	神奈川県立横浜国際高等学校	1	千葉県	千葉日本大学第一高等学校	1
兵庫県	兵庫県立兵庫高等学校	1	千葉県	日本大学習志野高等学校	1
鹿児島県	鹿児島県立加治木高等学校	1	千葉県	国府台女子学院高等部	1
埼玉県	埼玉県立川越高等学校	1	千葉県	市川高等学校	3
埼玉県	埼玉県立浦和第一女子高等学校	1	千葉県	専修大学松戸高等学校	1
埼玉県	埼玉県立蕨高等学校	1	神奈川県	鎌倉女学院	1
			神奈川県	慶應義塾高等学校	3
国立高等専門学校			神奈川県	慶應義塾湘南藤沢高等部	1
和歌山県	和歌山工業高等専門学校	1	神奈川県	中央大学附属横浜高等学校	2
			神奈川県	法政大学第二高等学校	3
現地校			神奈川県	法政大学附属国際高等学校	1
中国上海市	上海外国語大学附属外国語学校国際部	1	山梨県	日本航空学園	1
中国上海市	華東師範大学附属第二中学国際部	1	静岡県	浜松日体高等学校	1
中国上海市	進才中学国際部	1	愛知県	愛知工業大学名電高等学校	1
			愛知県	名古屋経済大学市邨高等学校	1
私立高等学校			愛知県	中京大学中京高等学校	1
中国上海市	上海日本人学校高等部	43	愛知県	名古屋高等学校	1
シンガポール	早稲田渋谷シンガポール校	7	愛知県	名城大学附属高等学校	1
北海道	札幌日本大学高等学校	1	滋賀県	比叡山高等学校	1
北海道	立命館慶祥高等学校	3	滋賀県	立命館守山高等学校	2
宮城県	宮城学院高等学校	1	京都府	京都外大西高等学校	1
茨城県	江戸川学園取手高等学校	1	京都府	東山高等学校	1
茨城県	土浦日本大学高等学校	23	京都府	同志社国際高等学校	5
茨城県	茗溪学園高等学校	4	京都府	洛南高等学校	1
東京都	関東国際高等学校	1	京都府	立命館宇治高等学校	10
東京都	工学院大学附属高等学校	2	奈良県	西大和高等学校	1
東京都	国際基督教大学高等学校	5	和歌山県	開智高等学校	1
東京都	自由学園	1	和歌山県	近畿大学附属和歌山高等学校	1
東京都	青山学院高等部	3	大阪府	関西大倉高等学校	1
東京都	専修大学付属高等学校	1	大阪府	桃山学院高等学校	1
東京都	早稲田実業学校	4	兵庫県	関西学院高等部	1
東京都	早稲田大学高等学院	1	兵庫県	須磨学園高等学校	1
東京都	中央大学杉並高等学校	4	兵庫県	灘高等学校	1
東京都	中央大学附属高等学校	5	兵庫県	啓明学院高等学校	2
東京都	日本大学高等学校	1	岡山県	就実高等学校	2
東京都	日本大学豊山高等学校	1	香川県	大手前丸亀高等学校	1
東京都	八王子学園八王子高等学校	1	香川県	藤井高等学校	1
東京都	豊島岡女子学園高等学校	1	鹿児島県	ラ・サール学園	1
東京都	明治学院東村山高等学校	1	鹿児島県	希望ヶ丘学園鳳凰高等学校	1
東京都	明治大学付属中野八王子高等学校	4	鹿児島県	鹿児島高等学校	1
東京都	明治大学付属中野高等学校	2	鹿児島県	鹿児島第一高等学校	1
東京都	國學院高等学校	1			

#### 4. 中学校卒業後の進学先決定までの流れ

ほぼ100%の生徒が高等学校や高等専門学校への進学を希望する。

##### (1) 情報収集

海外にいと日本よりも進学先の情報を取り入れることが難しい。そのため、生徒も保護者も準備を早く進めている。早い家庭で中1の頃から、遅くても中3の夏休みまでにはほとんどの生徒は情報収集を終えている。

##### ①生徒

- a. 進路コーナー…学校に設置してある進路コーナーには日本から送られてくるパンフレットを置いてある。休み時間に生徒が自由に閲覧できるようになっている。また、先輩たちが実際に受験をして得た情報（どんな問題が出題されたか、面接でどんなことを聞かれたか）をまとめた入試報告書や高等学校からいただいた過去問なども閲覧できるようになっている。
- b. 3年生の話を聴く会…2月下旬に中3の生徒から中1、2の生徒に向けて受験までの取り組みを発表する。実体験に基づいた話なので、下級生にとって貴重な時間となっている。海外から受験する場合は受験方法（海外入試、帰国生入試、一般入試、高等部の受験、公立校の受験など）が多くあるため、それぞれの状況にあった受験方法が選択できるように説明を行っている。
- c. 進路説明会…中3の生徒を対象に進路指導主任から説明を行う。主に、受験の方法や保護者と一緒にどんな準備をしていく必要があるのか説明を行っている。
- d. 実力テスト…日本で行われている業者の模試を年2回行っている。日本の生徒との比較を行うことができ、判定をもとに志望校決定の判断材料としている。
- e. 学校見学…春休みや夏休みなどの長期休みを利用して日本に一時帰国し、学校見学や説明会などへ積極的に参加してもらっている。ホームページやパンフレットからだけではわからないことも多くあり、学校の雰囲気が良かったことを志望校決定としている生徒も多かった。

##### ②保護者

- a. 学校説明会…日本や中国以外にある海外の中学校や高校の先生に、上海日本人学校浦東校に来校していただき、保護者向けの学校説明会を行っている。毎年5月～7月の時期に約40校来校していただいている。日本に帰ることなく生の情報を得られる機会なので、多い時には、40～50名程度の保護者の方が参加をしている。説明会の後には、個別の質問会を設けることで受験に向けての不安が少しでも解消されるようになっていた。
- b. 進路説明会…生徒に向けて行っているものと同様。主に中3の保護者の方に向けて行っているが、毎回2～3割程度は中1、2の保護者の方も参加をしていた。
- c. 学校見学…生徒と同様。

##### (2) 志望校の決定

志望校を決定するにあたっては、様々なことを考えて決定しなくてはならない。日本人学校に通っている生徒は基本的に保護者の方の仕事の都合による。そのため、志望校を決定するための考える判断材料として、家族全員で暮らすか・単身赴任にするか・寮で生活するか・国内に住む祖父母と一緒に暮らすかなどがある。保護者の方の仕事がどうなるか帰国直前まで未定なことも多々あるので、家族と十分に相談をした上で決定している。また、弟妹がいる場合には同時に考えなくてはならないので、早めの準備を多くの家庭で行っている。

##### (3) 受験方法の決定

志望校を決定するのと並行して、受験方法を決定していく。受験方法は国内よりも選択肢が多い。受験方法の

名称は各高等学校によって異なるが、主に海外入試（海外を会場として行われる入試。10月頃から始まる）、帰国生入試（各学校で定めた帰国生の基準に達している生徒対象の入試。12月頃に国内で行われることが多い）、一般入試などがある。海外入試や帰国生入試で受験ができる場合は不合格であったとしても、その後1月から3月にかけて行われる一般入試で再度受験することができるため、複数回に渡って受験する機会がある。

また、注意しなければならないのが公立学校である。基本的に受験に対しては、国内にいるときと大きく変わることがないが、出願の前に受験をする資格があるのかどうかという確認が12月頃に行われるため、説明会に参加するなど早めの準備が必要になってくる。

#### (4) 受験の準備

受験に向けての生徒の準備として、学力の向上と面接や作文の対策が必要不可欠となっている。また、自身の学力でどの程度の合格の可能性があるのか確認するため、(1)でも記載した通り実力テストを行っている。日々の授業を大切にしていることはもちろんだが、進路コーナーに置いてある高等学校の過去問を解いたり、先輩の書いた入試報告書をもとに対策をしたり、塾に通ったりする生徒も多い。なお、全国学力・学習状況調査からも分かっているが、部活動の回数が平日2回のみと国内に比べると少ないため、家庭での学習の時間は国内にいる生徒よりも多い。

また、学校によっては資格をもっていることで優遇される学校もある。そのため、学力を向上させるため英検や漢検、HSK（中国語検定）などの資格取得に力を入れる生徒も多い。

その他、面接や作文が受験の際に行われる学校も多いため、総合的な学習の時間を用いて準備をしたり、登校してから授業が始まるまでの時間や昼休みを利用して先生と練習を行ったりしている。国内と大きく異なるのは、放課後の時間が全くないため、隙間の時間を有効に活用している。

#### 5. 最後に

進路決定に向けては、中学生になってからの準備ももちろん必要であるが、小学生の時から積み上げてきたものが非常に大切であると感じた。時間を守ることや荷物の整理など、当たり前のことが当たり前にでき、授業を受ける環境を整えることが子どもたちの学力向上に結びついている。以下に学力の参考データとして、中学部3年と小学部6年における「平成29年度 全国学力・学習状況調査の比較」と「平成29年度 第1回、2回 実用英語検定合格者人数」を載せてある。

国内と海外では環境が大きく異なるため、真似することはできないが、どの学校においてもその地域や学校ごとの特徴を生かして子どもの生きる力を伸ばしていくことが大切である。

平成29年度 全国学力・学習状況調査の比較（中学部3年）				
	国語A	国語B	数学A	数学B
正答率（上海日本人学校浦東校）	91%	94%	84%	74%
正答率（全国平均）	77%	72%	65%	48%
正答率（最高位の都道府県）	82%	78%	73%	54%
	秋田・石川・福井	秋田	福井	福井
平成29年度 全国学力・学習状況調査の比較（小学部6年）				
	国語A	国語B	算数A	算数B
正答率（上海日本人学校浦東校）	85%	74%	87%	64%
正答率（全国平均）	75%	58%	79%	46%
正答率（最高位の都道府県）	80%	64%	85%	53%
	秋田	秋田・石川	石川	石川

	平成29年度 第1、2回 実用英語検定合格者人数				
	2級	準2級	3級	4級	5級
中学部3年	30	34	13	2	0
中学部2年	10	31	52	19	3
中学部1年	3	4	23	33	12
小学部6年	1	2	5	12	5
小学部5年	0	1	1	11	9
小学部4年	0	0	1	2	4
小学部3年	1	1	2	4	3
小学部2年	0	0	0	3	3
小学部1年	1	1	2	4	3